

6年間の大きな成長

【プログラムのねらい】

子どもの小学校6年間の成長は心身ともに大きいものです。ここでは、同じ年代の子どもの成長について意見交換をすることで子育てのヒントを見つけることができます。一人一人の成長には個性があることを押さえつつ、子どもの成長について学習します。

【プログラムの展開例】（時間:60分程度）

展開	○進め方 ◎ことばかけ	留意点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介をします。 ○プログラムのねらいや学習の進め方について説明します。 ○自己紹介やゲームを行い、明るく活動的な雰囲気づくりをします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○明るく元気な話し方を心がけます。 ○今日のプログラムのねらいについて、ポイントをしぼりわかりやすく説明します。 ○参加者に気を配り、ゲームに参加できていない人や戸惑っている人には、明るく声かけをして参加を促します。 ○ゲームなどが終了するまでに、次の活動にスムーズに移れるようにグルーピングしておきます。 ○1グループにつき5～6人（全体の人数が少ない場合は3～4人）を目安に編成します。 ○導入で時間を取りすぎると展開やまとめの時間が少なくなります。あらかじめ時間配分を考えて進めていくようにします。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ○「ワーク1」の活動を説明します。 皆さん、子育てに不安や迷いを感じたことはありませんか？ 日常での子育ての先生は誰なのか振り返ってみましょう。 ◎「我が家では」どうか考えてみましょう。 ◎「エピソード」を読みますので、聞いてください。 ○エピソードを聞いて皆さんはどんな感想をもちましたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者が自分の子育ての先生について振り返ることができるよう、吹き出しの中の「学校ですか…」「家族ですか…」をゆっくりと読み上げ、考える時間を取ります。 ○あまり深入りせずに、自分の家の様子について振り返る程度にします。 ○「子」と「母」で声を変えて感情を込めて読みます。 ○グループで意見交換をします。 ○つつい「早く早く」と言ってしまうことを子どもがどのように思っているのかについて意見交換をするように助言します。

	<p>○「ワーク2」の活動を説明します。</p> <p>(1)「最近、毎日毎日、同じことを言っているのに…」ということは何ですか。</p> <p>(2)小学生のうちに身に付けてほしいことは何ですか。</p> <p>記入してみましょう。</p> <p>◎グループで意見交換をしましょう。</p> <p>◎「教育に関する3つの達成目標」をもとに小学校6年間の成長について話し合います。</p>	<p>○気が付いたこと何でもいいので記入するように話します。</p> <p>○普段の子どもへのことばかけを見つめるように話します。</p> <p>○資料の「教育に関する3つの達成目標」も参考にするように助言します。</p> <p>○答えに「正しい」、「間違っている」ということはないので、考えたことを積極的に発表してほしいこと、また、お互いの発表を共感的にとらえるようにしてほしいことを話します。</p> <p>○出された意見を参考にしながら自分の言動について考えるように話します。</p> <p>○ワーク2と同じ展開で進めます。</p> <p>次の3つの視点「学力」、「規律ある態度」、「体力」から6年間の成長について話し合います。</p> <p>○在学している児童の兄弟がいる場合には、兄弟の成長を思い起こし考えるように話します。</p> <p>○人それぞれ個性や個人差があるように成長にも個人差があることを押さえておくように助言します。</p>
まとめ 10分	<p>◎今日の学習のまとめをしましょう。</p> <p>○参加者一人一人に今日の学習を通して考えたことや感想を書いてもらいます。</p> <p>(ふりかえり)</p> <p>○発表してもらいます。</p>	<p>○今日の学習を振り返り、特に印象に残ったことを中心に書くように話します。</p> <p>○あらかじめ、数人の方に感想を発表してもらうようお願いしておきます。</p> <p>○発表を共感的に受け止め、発表に対して手短かにコメントします。</p> <p>○自己の体験談や乳幼児期と同様に小学校の6年間も「毎日が小さな成長の記念日」であることを話しまとめます。</p>

※ 設定時間が短い場合は、ワーク2を中心に流れを考えるようにします。